

話された
人
たち



浜田満子
(西部保育所)



竹村たか子
(下田村)



高橋浄馨
(久礼田保育所)



久米幸子
(岡豊保育所)



池添千枝子
(東部保育所)



楠本芳
(浜改田保育所)



神田悦子
(里改田)



淡中富士枝
(岩保育所)



石山当千代
(種生保育所)

●市民の声・座談会………子供の成長と保育

「問題児」より「問題親」がクローズアップされてい

るこの世相。両親と一緒に遊びたい、という子供の願望

は十分かなえられているだろうか。伸びのびと遊んでいる

だろうか。子供の生活は、遊びそのものなのに、禁じら

れた遊びが増えていないだろうか。

今月の座談会では、子供たちの生命の鼓動を市内の保

育所の保育さんとお母さん方に話し合っていた。

今日忙しいところありがと

うございます。子供と保育につい

ていろいろお話しをうかがいたい

と思います。保育所に入ってこん

なに変わったことではないでし

ようか。

集団生活のおかけでしょうか、

すくおしゃべりになりましたね

一面、乱暴な言葉を使い出した。



▼男の子と遊ぶようになりま

す。東京の親類が来たりするとすく東

京弁を覚えて使います。

▼おばあさんのお守りで育った子

は、おばあさん特有の甘ったるい

言葉を使つ。それをみんなで真似

してみたり。

▼とにかくもう変わった言葉はすく

取り入れて真似します。いろんな

言葉を覚えるのが先だと思つて放

任してあります。そのうちきれいな

言葉を覚えて悪い言葉を捨ててゆ

きますから。

▼ものを言わない子に困ります。

お母さん、おばあさんが側につい

ている家庭で育った子は、何かし

てほしい時はすぐしてくれるから

物言う必要がない。そういう子供

が少しでも物を言うように、「お茶

と子供が言ってもすぐいれてやら

ずに「お茶をいれてちょうだい」

と、言うようにしつけています。

▼五歳になればかなり話しができ

るのが標準です。生活発表をさせ

ると、一対一だとよく話せるんで

すが、たくさん友だちの前で、

わかるようにはなかなか話せない

んです。保育ではこういうことを

ネライにしていますので、子供が

一を言えば十を悟って応えてやる

のではなく、子供の意志伝達の訓

練に最後まで聞いてやるようにし

ていただきたいと思ひます。

大切な

親子の会話



▼お母さん方の中には保育の言葉

がぞんざいに聞こえる人はいませ

んか。「保育は標準語を使ってほ

しい」という声を聞いたことがあ

りませんが。

▼角ばった感じがしますから別に

標準語を使わなくてもよいように

思ひますが。

▼お母さん方は子供と話す時間や

絵本を読んでやる時間はあ

るようか。

▼私は夕食の後、極力、皿洗いを

あとまわしにして話し相手になっ

てやり絵本を読んでもやるように気

をつけています。家事をすませて

自分の手のすいた時には子供が眠

くなっていきますから。

▼二歳で保育所に入ってきて全然

言葉を知らない子がいます。「マ

マ」ぐらいは言ったでしょうか。

お母さんに聞いてみると、しあわ

せが悪くてお母さん一人で育てて

いて、働かんといけませんので子

供を家の中に閉じこめて外に出

ていた。子供は言葉を覚える機会が

なかったわけですね。けれども保

育所に入って半年もたないうち

に他の子供と同じように話せるよ

うになりました。

▼身体障害による言語障害か環境

による遅れか、私たち保育はまず

それを見きわめて指導しているわ

けなんです。

▼言語障害はかなりのところまで

直る可能性があると思ひます。言

葉を覚えるには、子供同志の会話

が一番良いですね。

▼この高い物置で「家庭の台所と

同じように給食も苦労しています。

一日の乳児給食費が百四十七円、

幼児六十四円ぐらいで、これでも

一カ月二十二日の保育日数で、多

く月給は二十七日ぐらひあります。

子煩悩が

偏食を



▼農家へゆくと市場へも出さない

しかし捨てるには惜しいという野

菜類があるんです。近所からそう

いう物をいただいて助かるんです

が、そういう物を保育所へまわして

もらえないものでしょうか。

▼東部保育所ですが、父兄でビー

マンや茄子、ぶどうを作っている

人がいて、出荷の時期をすぎると

格が下がると、「取りにこんか」と

連絡してくれます。子供も大変喜

びますし、取つて来たのを園の給

食に使うこともあります。農家と

連絡とりあえばそんなこともでき

るのではないのでしょうか。

▼予算がない給食を全部食べてく

れたらよいんですが。

▼子供の好きな料理を作れば残菜

がなくてよいんですがどうしても

栄養がたよるので苦心のいる所

です。

▼特に偏食のひどい子がいた。父

兄と相談しておかずを少しでも食

案外多い

父兄の偏食



▼それと食事の雰囲気が大切です

ね。キュウリの嫌いな子がいまし

たが、みんなと一緒に楽しく食事

するというのが習慣づいてくる

と、食べるようになりまして。

▼保育の食事風景を見たことがあ

るんですが、家だと食べないもの

を喜んで食べている。保育であ

りがたいな思ひました。

▼長く保育でお世話になっていま

すが、まだ食事の光景を見たことがないです。参観日などやっているように、そんな場面もほしいです。

体力づくりは

まず足から



▼私の所では年に一回はお母さんと一緒に給食を食べています。それなら案外お母さんが偏食だったりして。(笑)けれども大変よろこんでくれますね。

▼でもみなさん忙がしくて保育に欠けるから子供さんをあずけていますから、たとえばお誕生日会をしますとお招きしても来れないのではないのでしょうか。

▼私の子は保育にじっとしていません。山へ出てゆく、畑へ出てゆくという子ですが、自分の子ですから心配です。先生の話を聞きたい案内があれば忙がしくても時間をさいて出席するのではないのでしょうか。

▼中には母親のない子もいるし、来れないお母さんもいる。保育所としてはそれが悩みです。

▼外で遊ばせるようにして体力づくりをしています。備えつけの遊

具やマット、縄とび、平均台など利用して保母も一緒に遊びながら危険には目を配っている。

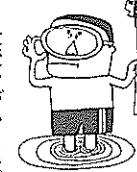
▼最近では送るむかえも車でのものが多くなつたし自分の足を使うことが少ないでしょう。体力づくりはまず足からやらんといけません。

▼なにもかもお母さんがしてやるためか、ボタン一つとめられない子があります。

▼一年中ソックスをはいてきた子がいた。運動でそれをぬぐ時、「お母ちゃんはいちよらないかんゆうた」言っんです。

▼毎年一月頃、保育所が独自で幼児画展をやっています。できれば市の千四百人の幼児の絵を見ていただきたいのですが、会場その他の都合でそこまでゆきません。

昨年、こんな感想がありました。昔の絵と今の絵はずいぶん違っている。今の幼ない子がこんな素晴らしい絵をかいているのにビックリした。



▼芸術の世界は大変むづかしい。

説明的な絵をかかせることはしていません。子供が遊びの中で感動したことをそのまま絵にするように指導しています。

▼小学二年の子供ですが、保育の時に市展にも入選したことがありますが、小学に入って一番苦手な科目が図画なんです。本人はものすごく劣等感を感じてまして、ところがまた県展の子供の部に入選して、どうしてもそれがわかりません。

頭でつかちの

テレビッ子



▼小学一年の時にこう教えられたそうです。出品してもその組は入選しないから、絶対につつ立った人をかいてはいかん。かく人も一人でなく何人もいる所をかけ。

▼そう教えられると一人しかいないくても五人も六人もかくわけですね。それで次には何人か展覧会に通つたということでしたが、それを聞いて展覧会も無意味な気がしてきました。

▼保育から絵を持って帰っても子供は何をかいたか忘れてる。かいた場の雰囲気をつかめるよ

に日付でも入れてほしい。

▼小学に入れば作品をつくることを主眼にしますが、保育所ではそうでなく、作業の過程を重視したいと思つているのですが、時には作品もお家へ持たすこともあつてもよいかも知れませんね。

▼ある日子供の持つて帰つた絵の色彩が全然違つていた。先生に聞いてみると、子供の心理状態に全然違つて出ていたんです。持ち帰らなくてもよいかもしれませんが、持ち帰るのにもよい面があります。

▼家でもよく絵をかいています。家でかく絵も保育所でもかく絵もかわらないと思つんです。何かかいているのかと聞くとちゃんと説明してくれます。

▼たとえば牛なら牛をかこうというのではないですか。

▼そういう場合には、牛を見に行つて、その後では牛をかこうといわなくても感動をつけた後ではたいたいの子がそれを題材にします。

▼絵本でひかりの園とかあります。あの本は今の子供に程度が低いよう思いますが。うちの子供なんか見向きもしないんです。

▼保育所では子供同士でよく見えています。「大きいね」とか「同じだね」とか一つの絵からいろいろ連想して話がふくらんでいます。

▼保育所で見ると家へ帰つて興味がないんでしようか。

▼一般に活字が多ければ程度が高いというのではないと思つています。絵を見て連想し、想像力がつちかわれ、創造力へ発展してゆくのではないでしようか。

▼今の子は生まれた時からテレビを見てますし、私たちが考える以上に想像力が発展していません。内容を理解しないうちに大量に見ているわけでしょう。事柄は知つていても本当の内容はわからない。頭でつかちといいますが、そういう傾向がある。絵本はそういうものでなくて子供の中から出てくるものを育てる方向で編集されていると思う。そういう点で程度が低きという印象をうけるかもしれません。

▼あるお母さんが「困りました。うちの子は、ひどい時には一日千円も千円を使つて」といふんです。聞いてみると、お店へ買



親子の遊び

大切な

▼お父さんとお母さんがケンカした時なんか子供の状態がかわつてくるんですね。保母がどれだけ家庭の中へ入つてゆけるか、壁があつてむづかしいけれど。

●市民の声・座談会……子供の成長と保育



吉川 寿美
(大篠保育所)



永森 笹枝
(稲生保育所)



立田 きよ子
(後免保育所)



中村 博子
(後免保育所)



松岡 瞳
(稲生)

話された
人たち



溝 渕 えつ子
(里 改 田)



池 本 澄子
(明見保育所)



田 所 佳子
(里 改 田)



井 上 知子
(稲 生)